



日本電信電話ユーザ協会から 感謝状をいただきました！



2016年1月19日、当社は「もしもし検定（電話対応技能検定）」の発展に貢献した実施機関として、日本電信電話ユーザ協会より感謝状をいただきました。

「もしもし検定」は、2009年にスタートした電話対応の検定制度で、「お客様に喜ばれるビジネス電話対応の実現」や「電話対応のエキスパートとして即戦力になり得る社内の指導者の育成」を目的としています。当社は、もしもし検定の実施機関に登録し、全社を挙げて検定に取り組み、2015年末までに707名が受験しました。



この取り組みが「もしもし検定」を主宰しているユーザ協会から高く評価され、感謝状をいただくことになりました。選ばれたのは、全国にある121実施機関の中で当社を含めてわずか4社であり、大変名誉な出来事となりました。

贈呈式ではユーザ協会の畑専務理事から松居社長に感謝状が授与されました。松居社長は謝辞とともにインタビューに答えて、以下のように述べました。



Q：もしもし検定に取り組んだきっかけは？

当社は2011年度から電話対応品質向上運動を実施してきました。その推進メンバーが3級に合格したことが検定との出会いです。2014年度に実施機関登録をしたことが転機となり、「営業社員が基本マナーを身につけるのに役立つ」と全国に波及しました。

Q：今後の展開は？

全国100拠点に3級取得者を1名以上配置し、さらなる品質向上に取り組みたいと考えています。また、全社で推進している「認知症サポーター」の知識を活かして、高齢者にも優しい電話対応に努めてまいります。

当社では、これからも「もしもし検定」を活用して着実に電話対応のスキルアップをはかり、お客さま評価日本一を目指します。



【感謝状贈呈の選考基準】



- (1) 平成26年10月～平成27年9月の間の、1級～4級合計の検定受験者数が多い実施機関
- (2) 平成26年10月～平成27年9月の間の、1級～3級合計の合格率が高い実施機関（受験者数が50名を超える場合に限る）

※当社は上記（1）で高く評価いただき、この度の荣誉に輝きました。